

令和4年度 山形県立山形東高等学校 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

- **スクールミッション** 「文武両道」「質実剛健」「自学自習」の校是のもと、校歌にある「国家の運命ををしく負はむ」という志を胸に、地域と国際社会の発展をリードする人を育成します。そのため、普通科・探究科における高度な学びや探究型学習等に自立した学習者として取り組み、自己実現を図る力を育みます。
- **学校の教育目標** 1 創造力に富み、心豊かでたくましい人間の育成 2 自主的・自律的に行動できる、個性豊かな人間の育成 3 広い視野を持ち、国際社会に貢献できる人間の育成
- **本年度の重点目標** 1 いのちの教育と生徒指導の充実 2 探究型学習の推進による学力の向上 3 キャリア教育の推進と進路指導の充実 4 地域連携の促進と郷土愛の醸成
- 5 健康の保持・増進と安全・安心な学校づくり 6 読書習慣の形成と感性教育の推進

○ **本年度の評価** 【評価基準 A：達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：達成できなかった】

領域	重点目標	具体的目標・評価指標	自己評価	今年度の成果と課題	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者の意見・要望
学習指導	<p>【探究型学習の推進による学力の向上】</p> <p>1 自立した学習者を育成するため、自ら課題を発見し解決を図る探究型学習を学校教育全体で推進する。</p> <p>2 全ての生徒の基礎学力充実のために、授業中心主義を徹底する。</p> <p>3 生徒の授業評価による授業改善や研究授業を通じた授業力の向上を図る。</p> <p>4 授業及び家庭学習において生徒1人1台端末等のICTの効果的な活用を推進する。</p> <p>【読書習慣の形成と感性教育の推進】</p> <p>5 読書を心の糧とすべく、生徒が利用しやすい読書・学習の環境を整備する。</p> <p>6 芸術鑑賞の機会を多く設け、豊かな感性を養う。</p> <p>7 探究型学習にも対応する図書館環境を整備し、その活用を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に向けて、新学習指導要領に対応した探究型学習またはICTの効果的な活用を取り入れた授業の互観を年3回（内、他教科を1回）以上行う。 ・毎日の家庭学習時間について、年次＋2時間以上を目標に取り組ませる。 ・生徒の探究活動の成果として、校外発表を年間50件以上行う。 ・読書を推奨し、年間一人平均15冊以上の読書量をめざす。 ・校内読書感想文コンクール等への積極的な応募を促し、提出率100%をめざす。 ・教科学習及び読書のための図書館及び図書資料の利用を積極的に推進する。 	<p>企画</p> <p>B</p> <p>教務</p> <p>B</p> <p>図書</p> <p>B</p>	<p>企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究授業に関して各教科忙しいなか、実施していただいた。数値については改善の余地がある。 ・探究の成果発表については大幅に上回る発表が成された <p>教務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染による活動制限が徐々に緩和されたことで部活動などが忙しくなり、昨年度増加した学習時間がコロナ前と同水準に戻った。 <p>図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒・換気をしっかり行い、密にならないよう座席数を調整して安全な図書館利用を推進した。 ・図書委員会は、日ごろの活動をしっかり行ったことに加えて、企画した行事を自主的に準備・運営した。 	<p>企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究授業の運用と活用を改善したい。 ・発表件数の数値に関して見直しを検討。 <p>教務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活リズムに合った適切な課題の量や内容を教科・年次と連携しながら設定していく。 <p>図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会企画行事は非常に好評だった。次年度も日程が取れれば継続していきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末導入と探究型学習の充実により、劇的に教育の質とスピードが向上したと感じました。探究型学習の更なる深化を期待し、読書の推進と生徒様の自学自習を向上させるよう、ご指導よろしく願います。（B 寺島） ・探究型学習への取り組みが、いい意味で円熟化しつつ、悪い意味では惰性化しようとしている懸念を、担当教員と校長以下執行部が共有できている。先駆的な取り組み、研究発表の場づくりにも積極的で、全国にも誇れる探究型学習のパイオニアを目指せるのではないかと。探究型の根本を大切に、失敗も立派な成果であるという精神を保持し、決して単純にマニュアル化することのないように運用してほしい。（A 中山） ・部活動と両立し、忙しいながらも予習・復習をしっかりとし、毎日の授業を受けていた。探究活動を通して様々な力がついた。（A 吉田） ・探究の成果発表が目標数値を大幅に上回るなど活発な状況がうかがえる。探究活動が一定の軌道に乗り、生徒の自主的な学びの姿勢を引き出していると評価できる。学校の取り組み、先生方の努力のたまもので、敬意を表したい。（B 小林） ・（A 安孫子）
進路指導	<p>【キャリア教育の推進と進路指導の充実】</p> <p>1 生徒が自己の在り方生き方を考え、進路選択・決定とその実現に向けた努力ができるように、「キャリア教育総合実践プログラム」に基づきキャリア教育を推進する。</p> <p>2 3年間を見通した進路指導を行うため、各年次で必要な指導について共通理解を持って進める。</p> <p>3 大学入学改革に対応し、高い進路志望を実現するための指導方法について研究を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのストーリーを用いて、年次ごとに自立して学ぶ力を段階的に身につけるとともに、学習指導について、本校の実情を踏まえ、グローバル化や他県・他校の状況を視野に入れながら、3年間を見通した指導内容や指導法の研究に努める。 ・1年次から志願者層を掘り起こし、志願者層を厚くするとともに、合格率のアップを図るための入試研究を行う。また、難関大および医学部医学科の合格者60名を目指す。 ・難関大学、国公立大学医学部医学科の学校推薦型選抜・総合型選抜について研究を深め、現役合格者数のアップを図る。 ・キャリア教育推進のため、郷土研修等で他機関と十分な連携を図る。また、生徒の学ぶ力を育むため、各課・各年次と共通した認識で指導を実践する。学業面だけでなく、生活の様々な悩みを解消し健全な心身の発達を目指すために、保健課との連携を深める。 	<p>進路</p> <p>B</p>	<p>進路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の3年間の指導の流れを示す「学びのストーリー」の共通理解は図られてきている。他校とも情報交換を重ねながら指導改善につなげることができた。 ・コロナ禍の影響を受けつつも、希望者へのキャンパスツアーや卒業生との座談会などを企画し、高い目標に挑戦できる集団を例年通りつくることができている。 ・学校推薦型選抜および総合型選抜について、計画的な早期指導により、出願数および合格者数が昨年を上回った。 ・外部機関とも連携しながら、計画的なキャリア教育を進めることができた。 	<p>進路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「学びのストーリー」を全職員で点検・共有する機会を設ける。 ・生徒の自走および職員の働き方改善の点で、土日祝祭日の講習の在り方を見直す。 ・引き続き、全職員体制による見直しを持った指導体制の構築を行うとともに、最終的には一般入試まで志望を維持できる学力を身に付けさせる。 ・引き続き卒業生との座談会や体験的なキャリア教育を計画し、生徒の主体的な進路選択を支える。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・探究型学習により、生徒一人一人が何をやりたいか、将来どのような職に就きたいか考える機会が増えたと思います。大学進学だけの通過点という位置づけだけではなく、学ぶことの喜びやストーリーなど先のキャリアにつながるご指導を期待しています。（B 寺島） ・「学びのストーリー」という校内で共有しやすいキーワードを生み出し、日々の学びの先に進学やキャリアがあることを上手く指し示している。進学校にありがちな、偏差値や大学名での進学ではなく、生徒一人一人の将来ビジョンを描きながら、進路指導に活用できることが理想。（A 中山） ・1年次から志望を明確にし、目標を達成するために3年間勉強に真剣に取り組んでいた。定期的に二者面談があることで学業意欲を高め、担任の先生との信頼関係を築くことができた。3年次通信「共通テスト激励号」では、先生方の温かい言葉が子どもと親の心に響き、力となった。ありがとうございました。（A 吉田） ・3年間の指導の流れを示す「学びのストーリー」は生徒にとって進路とキャリアを見定める上で有効性が高いと思われる。浸透とさらなる共通理解に努めてほしい。（B 小林） ・（A 安孫子）
生徒指導・特別活動	<p>【いのちの教育と生徒指導の充実】</p> <p>1 かけがえのない自分の「いのち」と他者の「いのち」を尊重する姿勢を育む。</p> <p>2 教員による生徒観察と家庭との連携を深め、健全で充実した学校生活の基盤を形成する。</p> <p>3 生徒会活動と部活動を充実させ、自己実現を図り、連帯感を醸成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の安全を図り、交通事故ゼロをめざす。（交通事故の発生件数が10件未満となるよう、事故の未然防止に努める。） ・学校内外を問わず、いじめを許さない人間性を育み、その防止に取り組む。 ・毎月出席率平均について、99.0%以上をめざす。 ・部活動等で団体5種目以上、個人種目10人以上の全国大会出場をめざす。 	<p>生徒</p> <p>B</p> <p>教務</p> <p>C</p>	<p>生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故といじめ等に関する案件では未然防止とあわせ発生後の迅速な対応を心掛けた。 <p>教務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染による活動制限が徐々に緩和されている 	<p>生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命にかかわる重大な事故が決して発生しないように、小さな事故から未然防止に努める。 <p>教務</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒様の登下校の指導だけではなく、心身共に充実した生活を送ることができるよう、スクールカウンセラー等の協力を得ながらご対応よろしく願います。（B 寺島） ・幸い特に大きな事故や健康面での問題がなかったため、これまで通りの準備と想定に終始している。マスクの着脱に関しては県の指導を仰ぐしかないが、生徒そ

		<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加・ボランティアに関連する各種情報を特定掲示板等で定期的に紹介し、参加しやすい環境を整える。 		<p>が、なかなか元の生活に戻せない生徒が見られ、欠席が増加した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率の低下傾向は続いているが、生活リズムを整え、強い体と心を育てるため、保健課などと連携していく。 		<p>れぞれに考えさせる場面があると、教育効果にもつながるのではないかと。 (B 中山)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動で3年間東北大会に出場することができた。外部の水泳クラブで練習したが、多くの人と関わりながら、学校内外で健全で充実した生活を送ることができた。(A 吉田) ・出席率の低下傾向は気になる。欠席生徒に対するフォローではオンラインのさらなる有効活用など学びの場づくりへ手を尽くしてほしい。(B 小林) ・(B 安孫子)
健康 安全 指導 ・ 環境 整備	<p>【健康の保持・増進と安全・安心な学校づくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒及び教職員の心身の健康の維持・増進を図る。 2 危機管理体制をハード・ソフト両面から整備し、災害・事故の防止に努める。 3 学習環境の整備・保全とその美化に努める。 4 新型コロナウイルス等の感染症予防対策を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒保健委員会の「保健だより」年間8回、保健課発行の保健室だよりを年間8回発行して、心身の健康の保持増進を図る。 ・年18回のカウンセラー相談日を設定し、生徒・保護者との教育相談活動を充実させる。 ・清掃徹底日(毎週水曜日)と月例大掃除の取組みにより、校舎内外の環境美化に努める。 ・防災・災害対応訓練を年4回行い、危機管理意識の高揚と生活・校舎の安全を図る。 ・学校医と連携した保健管理体制を整え、感染症予防対策を徹底する。 	保健 A	保健 ・保健だよりは今年度より全校生徒・職員にメールで送付している。 保健室だよりも「さくら連絡網」を活用している。教育相談については必要に応じてかかりつけ医とも連携を図りながらすすめている。	保健 新型コロナウイルス感染症の第5類移行に対応し、日常生活と感染予防の両立を図る取り組みを模索する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、生徒様先生方の健康を維持していくことは大変ご苦労が絶えなかったと思います。これから5類に移行しても、油断せず、ただ人と人とのコミュニケーションの大切さ、生徒、先生方の関わりを大切にした教育を目指してほしいと思います。(A 寺島) ・幸い特に大きなクラスターや健康被害がなかったため、これまで通りの対応。新型コロナ対策に追われて、後手になりがちな防災対策も、これまで通り進められている。(B 中山) ・保健室だより受験生応援号2月編は、受験生をサポートする親として熟読し、プリントアウトして貼っていた。心身の健康で支えていただき、ありがとうございます。(A 吉田) ・近年の気候変動に伴う自然災害の激甚化は顕著になっている。特に豪雨など水害が本県でも目立っており、防災意識を一層高め、いざという時に対応できるよう備えてほしい。(A 小林) ・(A 安孫子)
家庭 地域 の 連携	<p>【地域連携の促進と郷土愛の醸成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の魅力や課題をよく知り、郷土やまがたに対する誇りと愛着を持った生徒を育てる。 2 探究活動や社会参加活動において、積極的に地域との連携と外部人材の活用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会・研修会(公開授業を実施)の出席率70%以上をめざす。 ・PTA会報を定期的に発行するとともに、保護者・学校評議員等の意見を聴き、経営改善に努める。 	総務 A	総務 ・PTA総会の出席率は76.8%であった。(1年次85.9%2年次66.1%3年次78.3%) ・PTA会報を年2回発行した。 ・学校評議員との懇談会を年2回実施した。	総務 ・今後もPTA・同窓会・地域の諸団体と協力・連携していく。 ・県高P連地区事務局としてPTA活動を支え、令和6年度東北高P連山形大会へ向けて準備を進める。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土との関わりは、探究型学習で推進しているのがよく分かります。PTA活動に関しては、今までの踏襲ではなく、何をすべきか、何をしないでよいかという取捨選択が必要かと存じます。(B 寺島) ・これまでどおり、順調に進められている。(B 中山) ・地域やPTAと連携し、いろいろな方々から期待と支援を受け、やまがたに対する誇りと愛着を持った生徒が育っていると思う。(A 吉田) ・(A 小林) ・(A 安孫子)
学校 運営		<ul style="list-style-type: none"> ・「山形県公立学校における働き方改革プラン」の趣旨を踏まえ、働き方改革を推進し、土曜講習等に伴う代休措置の取得率100%をめざす。 ・水道、光熱費及び消耗品等の節約に努める。 	教頭 B 事務 C	教頭 ・業務の効率化等を通し、働き方改革を一層推進する 事務 ・光熱水費対前年比(1月末現在)は以下のとおり。 電気 13.0%(1,042,922円)増 水道 1.1%(45,777円)増 ガス 33.7%(290,140円)増 全体 10.4%(1,378,839円)増 料金改定の影響により、使用料金が大幅に増加した。また、使用量については、電気量は、7月中旬からLED灯化の影響により、17.6%の節減効果があったが、水道量・ガス使用量は、節減効果が認められなかった。消耗品(用紙使用量)は、さくら連絡網の活用により削減されている。	教頭 ・業務の効率化等を通し、働き方改革を一層推進する 事務 ・換気や手洗いを励行しつつ、節電や節水を教職員・生徒に呼びかけていく。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の働き方改善は進んでいると思います。設備面では、光熱費についてはどこの学校でも厳しくなっていると思いますが、小さな改善と大幅な改修両面から検討された方がいいと思います。女子トイレの改修があるのであれば、水道代を節約できるトイレの導入や、発電設備の検討、電気と併用で、灯油、ガスなど使用できる設備の検討など、環境充実と節約両方で考えていかなければならないと思います。これは、企業も同様なので正直頭が痛い問題です。(B 寺島) ・主だった「働き方」への対策は見られなかったが、勤務振替措置の取得率が100%ということで、制度の利用がしやすい環境であることは大変望ましい。管理職やベテランの教員が率先して制度を活用することで、アピールを続けるべき。(B 中山) ・学校全体で働き方改革を推進し、光熱費等の節約が進められていて良いと思う。(A 吉田) ・さまざまな点で業務の効率化が図られていると思うが、内容の充実・高度化に伴い、教員の働き方で心身に過度な負荷がかからないよう目配せをしてほしい。持続可能性の観点から息の長い取り組みが求められる。(B 小林) ・(B 安孫子)